

女性組合員交流会「いきいきCafe」を開催

自分と他者の双方を理解することで 勇気を与えるエンパワメントにつなげよう！

生保労連では、女性組合員のエンパワメントおよびネットワークづくりを目的に、例年、女性組合員交流会「いきいきCafe」を開催しています。本年度は、同一の内容で11月25日に対面、12月5日にオンラインで開催し、合計13組合26名のみなさんにご参加いただきました。

テーマ 「つながるエンパワメント」

講師 日本生産性本部 平田しのぶ氏

一人ひとりが職場や組合活動、家庭や日々の生活において、より力を発揮し、周囲の人々を力づけることで自分と周囲がいきいきと行動するための気づきを得ることを目的に、カードを用いたグループワークを通じて実践的に学びました。

研修のポイント

- エンパワメントという言葉は、「一人ひとりが本来持っている力を発揮し、自らの意思決定により自発的に行動できるようにすること」と捉えることができる。
- 苦手とすることや課題といった自分の弱みを共有し、その弱みが自分と周囲を助ける強みとなるよう視点を変えて相互に考えることで、プラスの意味となる気づきを得ることができる。
- こうした想像力と創造力を使って新たな視点を得て、自分と他者を理解することが、勇気を与えるエンパワメントにつながる。



▲視点を変えて気づきを得ることの重要性を語る平田先生

参加者の感想

- 自分が課題だと思っていた部分を、他の方からポジティブな言葉で言い換えてもらったことで勇気をもらえた。
- 物事の見方は一つではないことをよく理解することができた。
- 日常ではあまり思いつくことのない気づきを得て、改めて自分を振り返ることができた。
- リーダーになるためのコミュニケーションに新たな気づきを得ることができた。
- 他労組の方と交流する機会はなかなかないため、貴重な時間だった。
- オンラインのため、遠方からでも気軽に参加できて良かった。



▲グループワークに励む参加者のみなさん



▲オンラインでもカードを画面共有してグループワークを実施